

タバコ火災に気を付けよう！



あなたはタバコを吸う人ですか？

あなたの周りにタバコを吸う人はいますか？

タバコの不始末で火災になります。



年ごとに喫煙者の割合は減少し続けている一方で、タバコが原因によって発生する火災件数は全国的にみても毎年上位を占めています。

タバコによる火災は交野市内でも多く発生しており、注意が必要です。

実際に交野市内で起きた事例をいくつか紹介したいと思います。

事例1

ベランダに置いていた吸い殻入れ（缶詰めの容器）の中に消し切れていなかったタバコを捨ててしまい、周囲にあったごみなどの可燃物に接触したことにより着火し火災になった。



事例2

普通ごみ用のごみ箱に消し切れていないタバコの吸い殻を捨てたことにより火災となった。



() : ごみ箱が置かれていた場所

事例3

ポイ捨てしたタバコが枯草などに着火し火災になった。

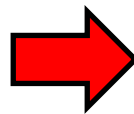


事例4

多量の吸い殻が溜まったガラス製灰皿の中に消し損ねたタバコを捨て入れたところ、他の吸い殻に燃え移り灰皿が割れて延焼拡大した。



吸殻が溜まったガラス製灰皿に火種の残ったタバコを入れたままにすると・・・



灰皿が割れて周囲にある可燃物に燃え移ったことにより火災になった。

火災を防ぐために注意すること

- ・ 灰皿を使用して、吸殻を溜めないようにしましょう。また、灰皿には水を張り、確実に火を消しましょう。
(ペットボトル・カップ麺容器を灰皿として使用するのは絶対にやめましょう)
- ・ 喫煙場所を決め、決まった場所で吸うようにし、寝たばこは絶対にやめましょう。
- ・ 吸殻を捨てる際には、火種が消えていることを確認してから捨てましょう。
- ・ お出かけ前、就寝前などは火元確認とたばこの消し忘れがないかよく確認しましょう。
- ・ 火災の早期発見や、逃げ遅れ防止のために住宅用火災警報器を設置しましょう。